

▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

📖の数字は、教科書のページ数です。

2年 わにのおじいさんのたからもの 📖 99~115

● わにのおじいさんと出会った、おにの子の物語です。

1 冬の始まりに、川岸で動かないわにに出会ったおにの子。

「しんだんだ」と思った。

2 わにの体をはっばでおおっている、わにが目を覚ました。

「ああ、いい気持ちだ。」

3 たからものを知らないおにの子に、わにはたからものの地図を示す。

「たからものついでにいろいろものか、きみの目でたしかめるといふ。」

おにの子が見つけたたからものは何だったんだろう…。



1年 けんかした山 📖 98~104

● いつも背比べをしては、自分のほうが高いと、けんかばかりしている二つの山がある日とつとつ一気に火を噴き出して、周りが火の海に包まれてしまつというお話です。

● 次のときの、二つの山や、お日様、お月様、小鳥たちの様子を読み取ります。

● 二つの山が背比べをしては、けんかばかりしているとき。

● お月様が注意をしたとき。

● 二つの山が火を噴き出したとき。

● 雲がどんどん雨を降らせたとき。

● 何年かたち、山がすっかり緑におおわれたとき。

4年 一つの花 📖 107~121

● 食べ物も満足に口にできない、戦時中の物語です。

● 幼いわが子(ゆみ子)に対する両親の気持ちを読み取ります。

1 「一つだけ…」という言葉を最初に覚えたゆみ子。

「一つだけよ」は、お母さんの口癖だったんだカメ!

2 両親のゆみ子に対する思い。

一輪のコスモスの花を渡して、お父さんは戦争に行っちゃったのね。

3 父のいない、十年後の母とゆみ子。

コスモスに囲まれて幸せそう。



3年 取材して知らせよう 📖 104~108

● 報告文を書くときの手順と、文章の工夫を学習します。

1 「取材メモ」を作り、調べる。

書く内容を選ぶ。

2 見出し、簡条書きなど、内容を人に伝えるための工夫をして書く。

3 報告文を読み返し、修正する。

4 友達と読み合う。

書くときは、取材して分かったことと、自分で考えたことを区別して書くことが大事。



6年 物語を作ろう 📖 112~117

● 写真を見て、物語を作ります。

1 写真の中から登場人物を決め、人物設定をする。

● 写真を、想像を広げて見る。

● 登場人物を選び、名前・年齢・性格などを設定して、カードに書く。

2 物語を組み立てる。

● 大まかな展開を考える。

● 構成を考える。

● あらすじを書く。

3 物語を作り、友達と読み合つて、感想を伝え合う。

表現を工夫して、読者に伝わるように書くことが大事じゃ。



5年 大造じいさんとがん 📖 86~101

● 大造じいさんと、残雪(ざんせつ)という一羽のガンの、闘いと友情の物語です。

● 場面の様子を考えながら、人物の心情の変化に注意して読みます。

1 いつも残雪にやられて、一羽のガンも手に入らない大造じいさん。

● うなぎ針をしかける。

● 小屋の中にかくれる。

● おとりを使う。

2 おとりを助けようとする残雪に感動する大造じいさん。

● 残雪を放してやり、

堂々と戦おうと呼びかける。

かける。

